



## 観 梅

日本の三名園と言われるのは、水戸の偕楽園、金沢の兼六園、岡山の後楽園である。第9代藩主、徳川斉昭公が開園した水戸偕楽園には、約100種、3000本の梅の木があり、2月20日から3月31日までの観梅デーを中心に多数の観梅客が県の内外から訪れる。観梅デーには、野だてとか琴の演奏なども行われ、また、梅娘が観梅に花を添える。園の南側斜面には、正岡子規の「崖急に、梅ことごとく斜めなり」の句碑がある。また、梅を詠んだ句には、服部嵐雪の「梅一輪、一輪ほどの、暖かさ」というのがあるが、一輪ほどのではなくて、一輪づつのだという説もある。

また、水戸の県庁側には、弘道館公園の梅林があり、約60種、800本の梅の木があって、開花の時期には芳香をはなっている。

## 2月のおもな行事

- 4～5日 県民所得推計ブロック研究会(静岡県)
- 5～7日 通産統計企画連絡会議(京都府)
- 6日 第32回茨城県統計大会(水戸市)
- 7日 個人企業調査関東ブロック会議(山梨県)
- 13日 全国都道府県統計主管課長会議(東京都)
- 13日 学校統計調査担当者会議(東京都)
- 14日 関東甲信静ブロック統計主管課長会議(群馬県)
- 18日 都市統計事務協議会(水戸市)
- 19～20日 国調地方別事後報告会(大洗町)
- 20日 地方統計職員業務研修(専門研修)(水戸市)
- 20日 統計調査員研修会(水戸市)
- 21日 社会生活調査員感想会(取手市)

